

合唱団フォンス・フローリス  
第14回コンセール・スピリチュエル

Chœur Fons Floris Concert Spirituel

# ヴェルサイユへの道

## ～ 初期 グラン・モテの世界

古楽アンサンブル コントラポント  
合唱団フォンス・フローリス  
指揮：花井哲郎

ピエール・ロベール「主を賛美せよ」  
Pierre Robert (1618-1699), "Laudate Dominum"

パスカル・コラッス「主を畏れる者は幸い」  
Pascal Collasse (1649-1709), "Beatus vir qui timet Dominum"

アンリ・デュ・モン 魂の対話  
Henry Du Mont (ca.1610-1684), Dialogus de anima

ミシェル＝リシャール・ド・ラランド「ゆるされた者は幸い」  
Michel-Richard de Lalande (1657-1726), "Beati quorum remissae sunt"

ルイ14世の美の世界が、始まる

2023年12月17日(日) 午後2時開演 (1時30分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール 東京都武蔵野市中町3丁目9番11号

JR中央線 中央・総武線「三鷹」駅北口から徒歩約13分

Fons Floris

チケット料金 【前売】一般 3,500円 【当日】一般 4,000円  
全自由席 【学生】2,500円 (すべて税込)  
\*学生券は、学生証を提示のうえお求めください

前売券取扱 **e+ イープラス** <https://eplus.jp/>  
東京古典楽器センター 03-3952-5515  
サンパウロ(「四谷」駅前) 03-3357-8642

配信チケット 公演当日から12月31日(日) 23時59分まで2週間  
料金

【配信チケット】2,500円  
【応援チケット】5,000円 (すべて税込)  
\*いずれもシステム手数料220円(税込)が別途かかります  
WOOMO (ウーモ) woomo.jp

お問い合わせ **フォンス・フローリス** 070-4123-0871 (平日10時-17時) [contact@fonsfloris.com](mailto:contact@fonsfloris.com)

ルイ14世の時代、フランス王室のミサの儀式の間に演奏されていた宗教音楽「グラン・モテ (grand motet)」  
徹底的にフランス・バロックの発音と演奏法にこだわりました。独唱、合唱、美しく鳴るガット弦、これが古楽オーケストラ!

グラン・モテの歴史はヴェルサイユ宮殿完成以前に始まり、アンリ・デュ・モンとピエール・ロベールはこのジャンルを創始した初期グラン・モテの作曲家です。また、ヴェルサイユ宮廷礼拝堂の完成後に聖歌隊の実質的な音楽責任者である副楽長として4人選ばれた音楽家のうちの2人が、パスカル・コラッスとミシェル＝リシャール・ド・ラランドです。ド・ラランドは多数のグラン・モテを作曲し、フランス・バロック宗教音楽の第一人者となりました。今回演奏する「ゆるされた者は幸い」は、副楽

長就任にあたり選考試験のために作曲された最初期の作品です。当時のグラン・モテは小合唱と大合唱の掛け合いが特徴的で、独立した楽章に分けず、変化に富んだ多数のセクションが切れ目なく続きます。詩編の祈りをダイナミックで洗練された趣味の音楽で表現していきます。デュ・モンによる、悩める魂と神の対話を描く「魂の対話」のみ小さなオラトリオです。

フランス・バロック初期宗教音楽の傑作を集めた稀有な公演をお楽しみください。

主催：株式会社フォンス・フローリス 共催：合唱団フォンス・フローリス

## 合唱団フォンス・フローリス *Chœur Fons Floris*



フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団。東京と関西でそれぞれ練習を進め、合同で演奏会を開催する。フランス語的なラテン語の発音、イネガルや装飾法などフランス・バロック特有の演奏法にこだわって練習に励んでいる。デュ・モン、ド・ラランド、リュリ、シャルパンティエ、カンプラ、ラモー（全宗教音楽）、ベルニエ、モンドンヴィルといった作曲家たちの、主にグラン・モテに取り組んでいる。

公式ホームページ <http://fonsfloris.com/choeur/>

\* Youtube では、過去の演奏を公開しています。ぜひお聴きください！

## 花井哲郎 *Tsuro Hanai*

古楽演奏家。1996年以来「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」音楽監督としてグレゴリオ聖歌とルネサンス音楽の演奏を続ける。CDジョスカン・デ・プレのミサ曲全集シリーズを好評リリース中。また古楽アンサンブル「コントラポント」のリーダーとしてバロック時代の宗教音楽演奏に取り組む。フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団フォンス・フローリスを始め、様々な古楽アンサンブルを指揮・指導する。フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。



## 古楽アンサンブル コントラポント *Contraponto - Ensemble for Early Music*

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。主にバロックの宗教音楽をレパートリーとする。プログラムによって、各パート1人ずつの器楽・声楽によるアンサンブル、アカペラの合唱、そして独唱、合唱にバロックオーケストラという形態まで、それぞれの作品にふさわしい編成をとる。作品の持つ可能性を最大限に引き出すために、時代・地域に固有の演奏形式に徹底的にこだわった演奏、また声楽家と器楽奏者が音楽のみならず「音」そのものに対するイメージを共有して、各自の独創性を生かしながらも「対位的に」一体となった演奏を目指している。

2015年以来、室内楽編成ではらむら古楽祭に出演、ヴィヴァルディの四季などバロックの名曲を演奏。2016年には Ottava Records レーベル第1弾としてモンテヴェルディ「聖母の夕べの祈り」のライブ録音をリリースする。

公式ホームページ <http://fonsfloris.com/c/>

【独唱】  
染谷 熱子 富本 泰成 梅田 純吾 春日 保人

【オーボエ】  
小花 恭佳 佐治 みのり

【ヴァイオリン・ヴィオラ】  
丸山 韶(コンサート・マスター) 勝森 奈々 佐々木 梨花 廣海 史帆 山本 佳輝

【チェロ】  
懸田 貴嗣

【ヴィオラ・ダ・ガンバ】  
島根 朋史

【ファゴット】  
鈴木 禎

【オルガン】  
能登 伊津子

## 武蔵野市民文化会館 大ホール

東京都武蔵野市中町3丁目9番11号

【JR 三鷹駅 北口から 徒歩 または バスで】

北口から 徒歩で 約13分

または バスで

「市民文化会館入口」下車 徒歩2分

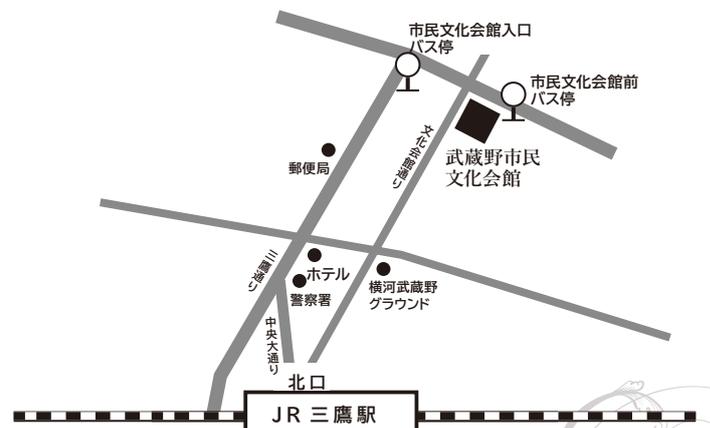
1番線 北裏、武蔵関駅、田無橋場、多摩六都科学館、武蔵野営業所  
2番線 柳沢駅、東伏見駅北口

【JR 吉祥寺駅 北口から バスで】

「市民文化会館前」下車

1番線 向台町五丁目、桜堤団地、柳沢駅、武蔵野市役所

2番線 電通裏、柳沢駅前行



### 【新型コロナウイルス感染予防に関するお知らせとお願い】

公演開催に際し東京都やクラシック音楽公演運営推進協議会によるガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染拡大予防策を実施しますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

・マスク着用は来場される方の判断といたします。

・なお、発熱・咳・倦怠感等症状のある方は、ご来場をお控えください。